

07_ NCCH

J. Dermatol. 2020

BRAF V600

2014 2019 3 BRAF V600E/K 50 1 150mg 1 2 2mg 1 1 Overall response rate Progression-free survival; PFS Overall survival; OS Kaplan-Meier log-rank PFS OS Kaplan-Meier log-rank Overall response rate x2

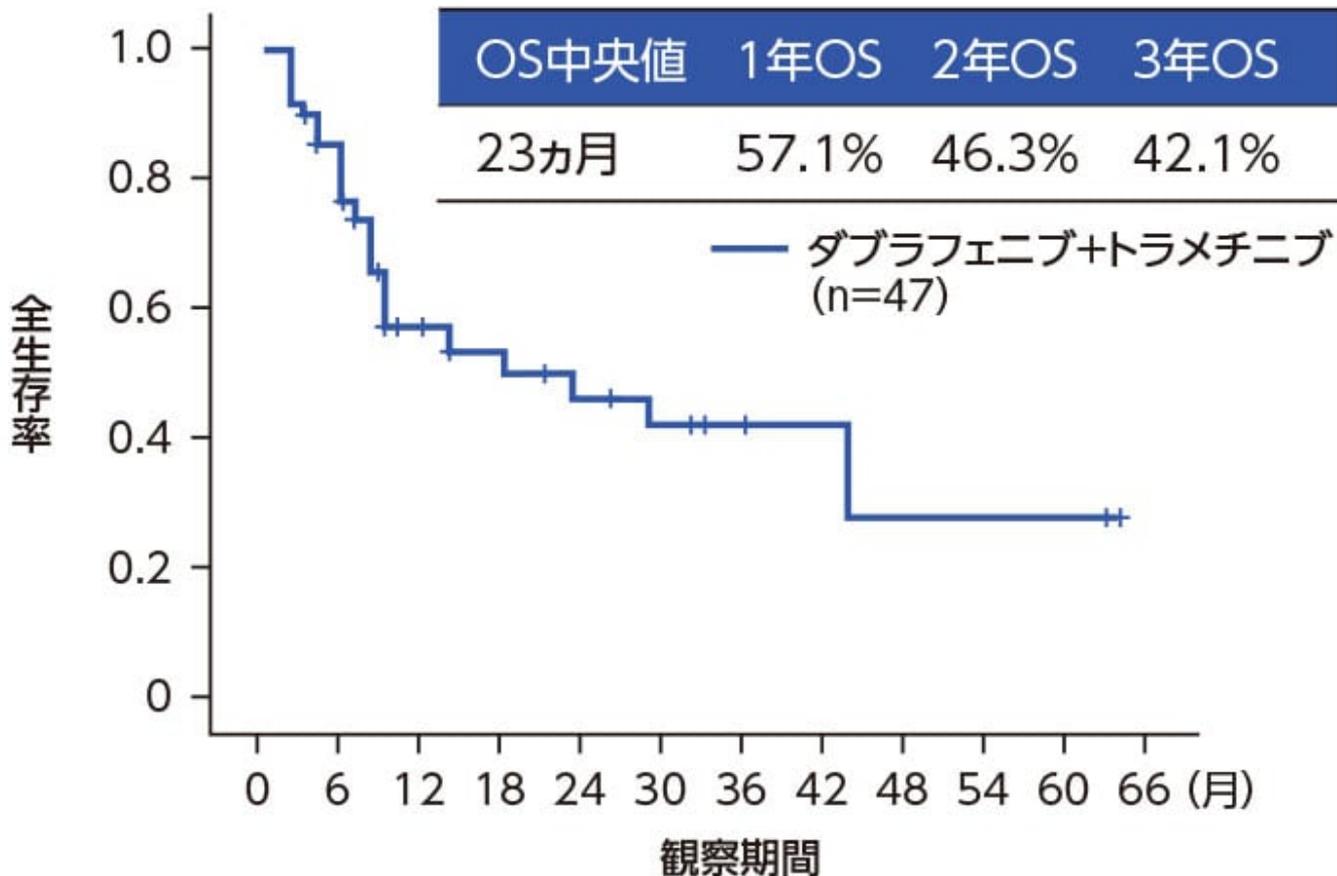
Takahashi, A. et al. J. Dermatol. 2020; 47(3): 257-264

Overall response rate

Image

最良総合効果	n=47*
CR	8 (17.0%)
PR	26 (55.3%)
SD	9 (19.1%)
PD	4 (8.5%)
ORR (CR + PR)	34 (72.3%)
DCR (CR + PR + SD)	43 (91.5%)

CR, complete response; DCR, disease control rate; ORR, overall response rate; PD, progressive disease; PR, partial response; SD, stable disease.



この試験は、ダブラフェニブとトラメチニブの併用療法が、メタスタティックメラノーマ患者の全生存率を向上させることを示唆している。

Limitation

- 全生存率の解析は、50%以上の患者が観察期間中に死亡したため、十分な統計的力を持たない。
- 全生存率の解析は、観察期間中に死亡した患者のみを対象としたため、観察期間中に死亡しなかった患者の生存率を過小評価している可能性がある。

結論

- 全生存率50%は44%、88%の患者が観察期間中に死亡したため、十分な統計的力を持たない。
- 全生存率の解析は、観察期間中に死亡した患者のみを対象としたため、観察期間中に死亡しなかった患者の生存率を過小評価している可能性がある。
- 全生存率の解析は、観察期間中に死亡した患者のみを対象としたため、観察期間中に死亡しなかった患者の生存率を過小評価している可能性がある。
- 全生存率の解析は、観察期間中に死亡した患者のみを対象としたため、観察期間中に死亡しなかった患者の生存率を過小評価している可能性がある。

Takahashi, A. et al. J. Dermatol. 2020; 47(3): 257-264

この試験は、ダブラフェニブとトラメチニブの併用療法が、メタスタティックメラノーマ患者の全生存率を向上させることを示唆している。

結論